Ⅱ　調査結果

第１回調査結果

１．調査の概要

（1）調査期間　　平成30年5月25日から6月8日まで

（2）調査対象者数　　628人

（3）回答者数　　573人

（4）有効回答率　　91．2%

２．調査テーマ

①「熱中症対策」について

②「環境保全の意識」について

③「選挙」について

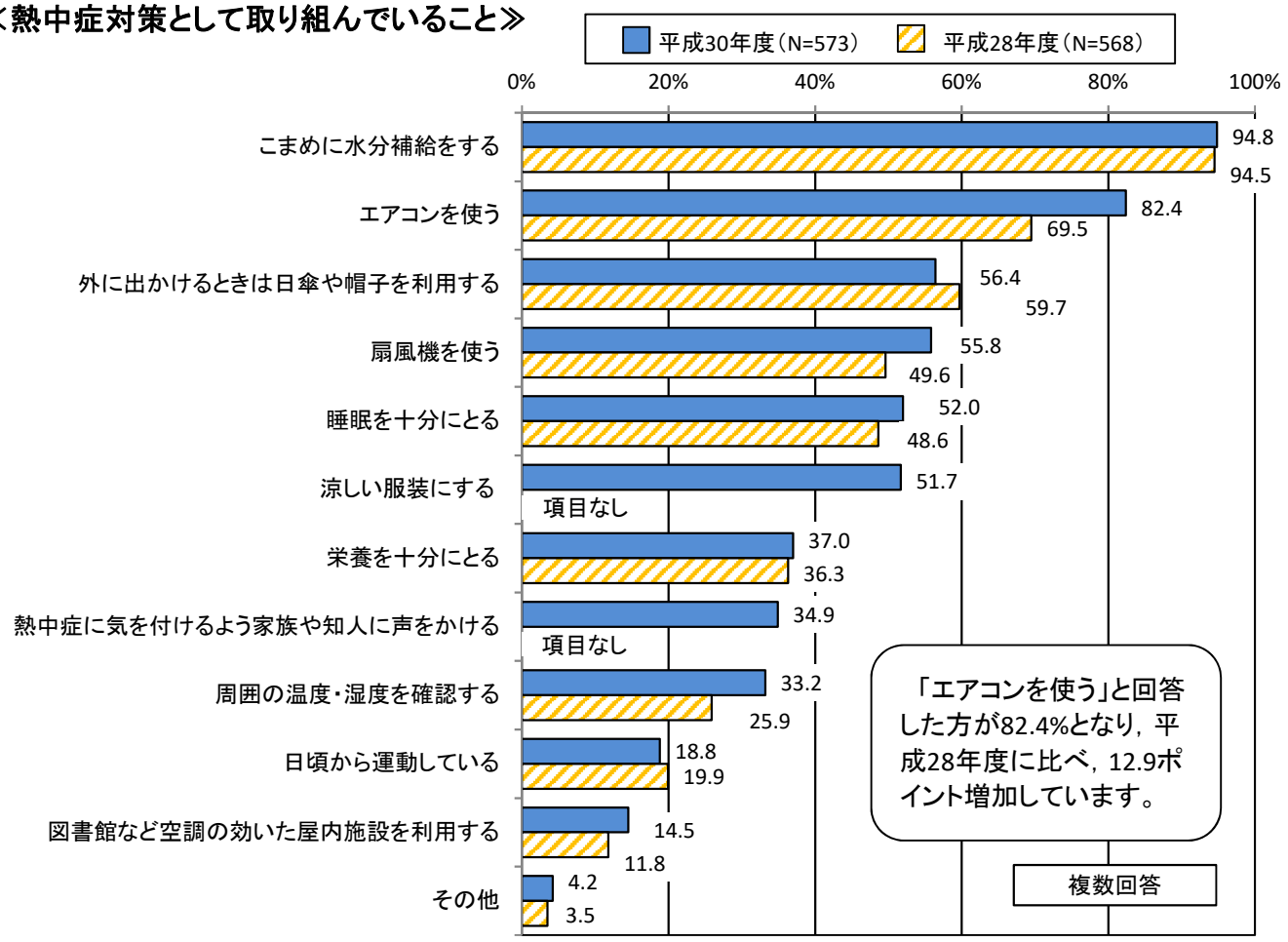
④「浸水対策」について

⑤「NPOやボランティアなどの市民公益活動」について

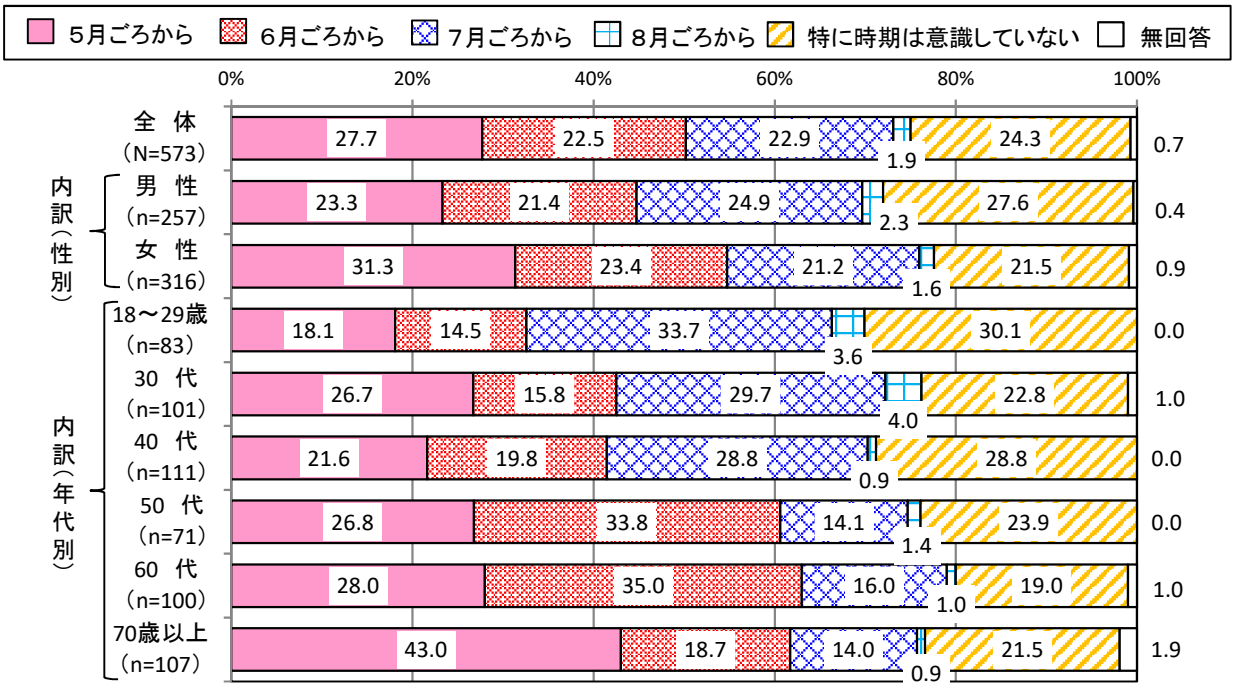
①「熱中症対策」について（N=573）

※『　』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの
例：『感じる』＝「感じる」＋「どちらかといえば感じる」

≪熱中症対策として取り組んでいること≫



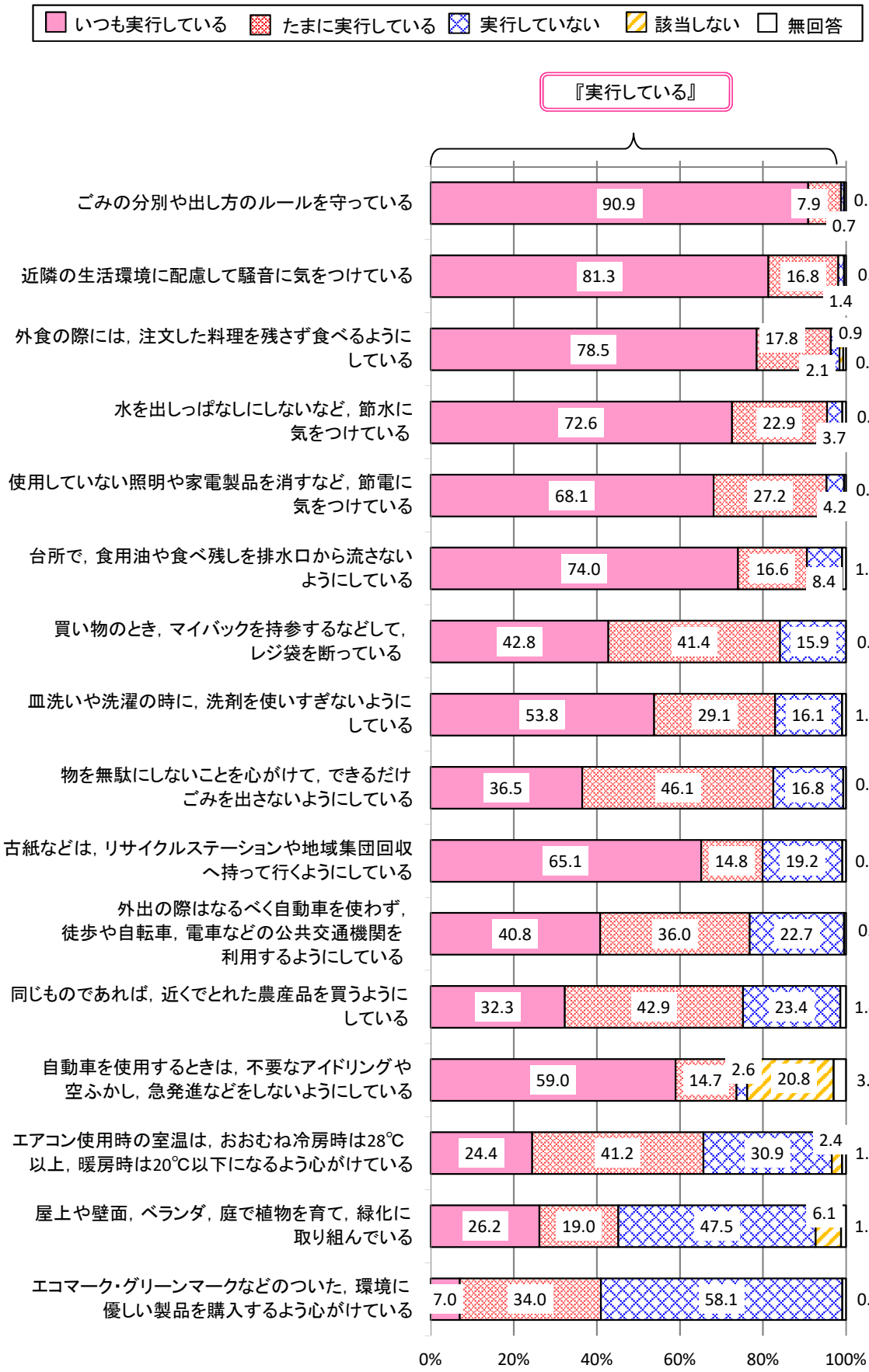
≪熱中症対策について，いつごろから意識して取り組むか≫



男女別では，男性に比べて女性の方がより早い時期から熱中症対策について意識して取り組んでいることがわかります。また，年代別では，おおむね年齢が上がるにつれて，５月から熱中症対策について意識して取り組んでいる方の割合が高くなっていることがわかります。

②「環境保全の意識」について(N=573)

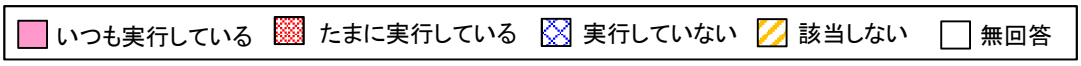
≪環境に配慮する行動を実行しているか≫



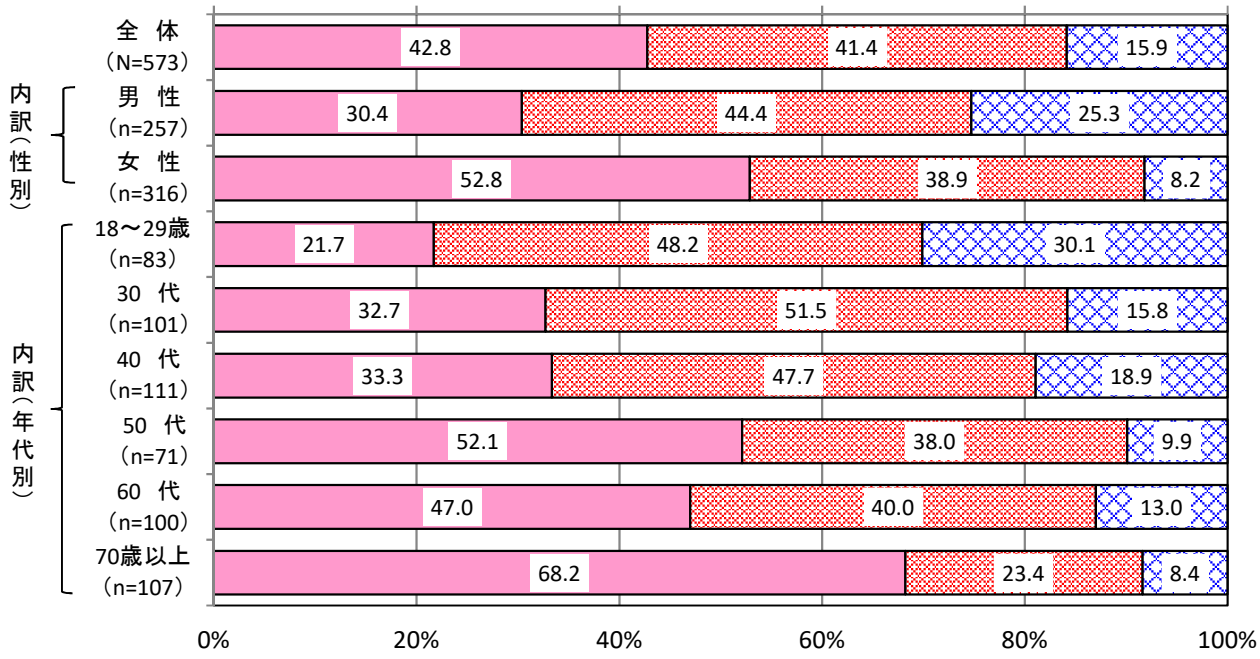
	『実行している』	「実行していない」
ごみの分別や出し方のルールを守っている	98.8	0.7
近隣の生活環境に配慮して騒音に気をつけている	98.1	1.4
外食の際には，注文した料理を残さず食べるようにしている	96.3	2.1
水を出しっぱなしにしないなど，節水に気をつけている	95.5	3.7
使用していない照明や家電製品を消すなど，節電に気をつけている	95.3	4.2
台所で，食用油や食べ残しを排水口から流さないようにしている	90.6	8.4
買い物のとき，マイバックを持参するなどして，レジ袋を断っている	84.2	15.9
皿洗いや洗濯の時に，洗剤を使いすぎないようにしている	82.9	16.1
物を無駄にしないことを心がけて，できるだけごみを出さないようにしている	82.6	16.8
古紙などは，リサイクルステーションや地域集団回収へ持って行くようにしている	79.9	19.2
外出の際はなるべく自動車を使わず，徒歩や自転車，電車などの公共交通機関を利用するようにしている	76.8	22.7
同じものであれば，近くでとれた農産品を買うようにしている	75.2	23.4
自動車を使用するときは，不要なアイドリングや空ふかし，急発進などをしないようにしている	73.7	2.6
エアコン使用時の室温は，おおむね冷房時は28℃以上，暖房時は20℃以下になるよう心がけている	65.6	30.9
屋上や壁面，ベランダ，庭で植物を育て，緑化に取り組んでいる	45.2	47.5
エコマーク・グリーンマークなどのついた，環境に優しい製品を購入するよう心がけている	41.0	58.1

環境に配慮する行動としては，「ごみの分別や出し方のルールを守っている」の実行度が最も高く，98.8%の方が実行しています。上位6項目は，『実行している』が9割を超えており，環境に配慮する行動として，市民の間で定着していることがわかります。

≪環境に配慮する行動を実行しているか≫（項目別：抜粋）

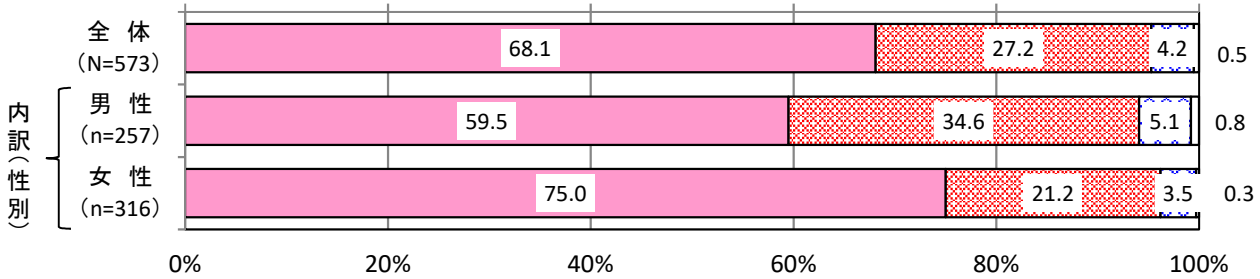


■買い物のとき，マイバックを持参するなどして，レジ袋を断っている



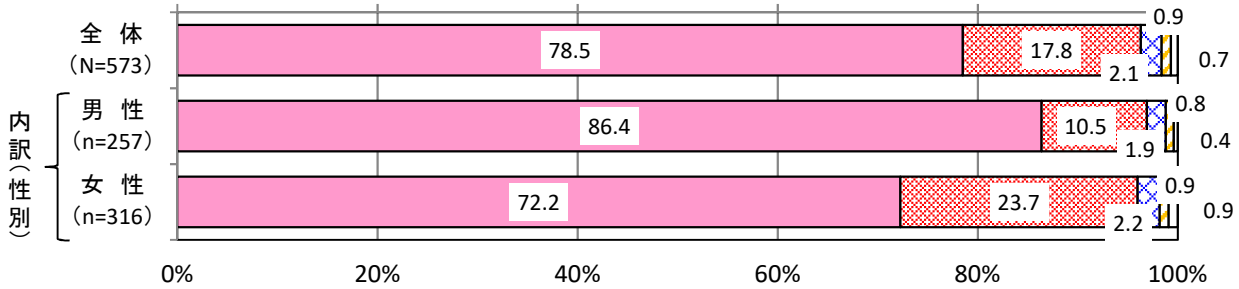
「いつも実行している」と回答した方は，男女別では，男性30.4%，女性52.8%と女性の割合が高いことがわかります。年代別でみると，18～29歳が21.7%，30代が32.7%，40代が33.3%となっており，他の年代に比べて割合が低くなっています。

■使用していない照明や家電製品を消すなど，節電に気をつけている



「いつも実行している」と回答した方は男性59.5%，女性75.0%と女性の割合が高いことがわかります。

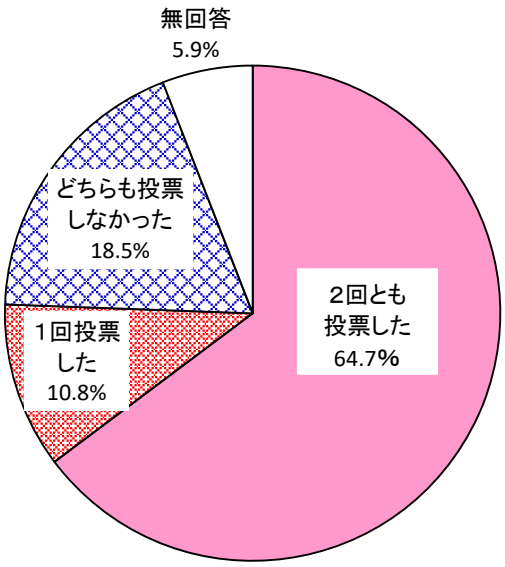
■外食の際には，注文した料理を残さず食べるようにしている

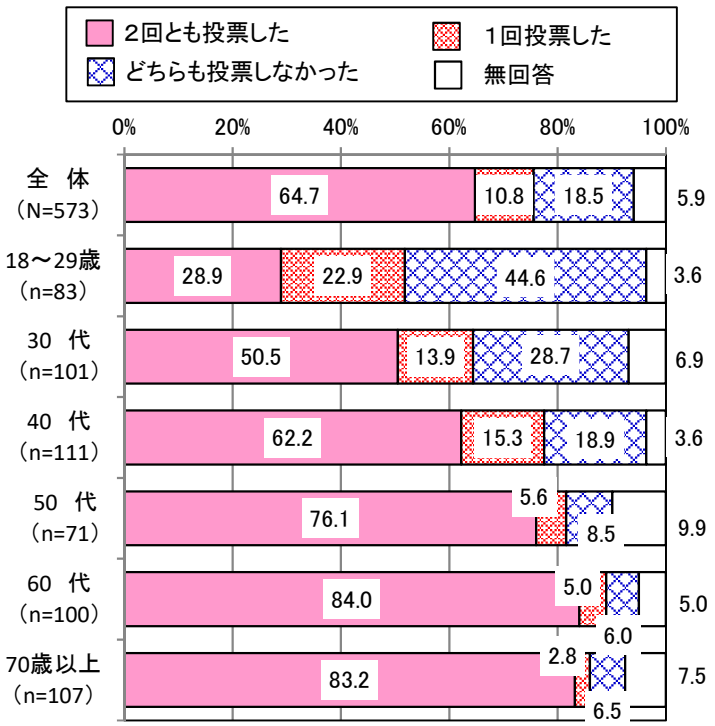


「いつも実行している」と回答した方は男性86.4%，女性72.2%と男性の割合が高いことがわかります。

③「選挙」について（N=573）

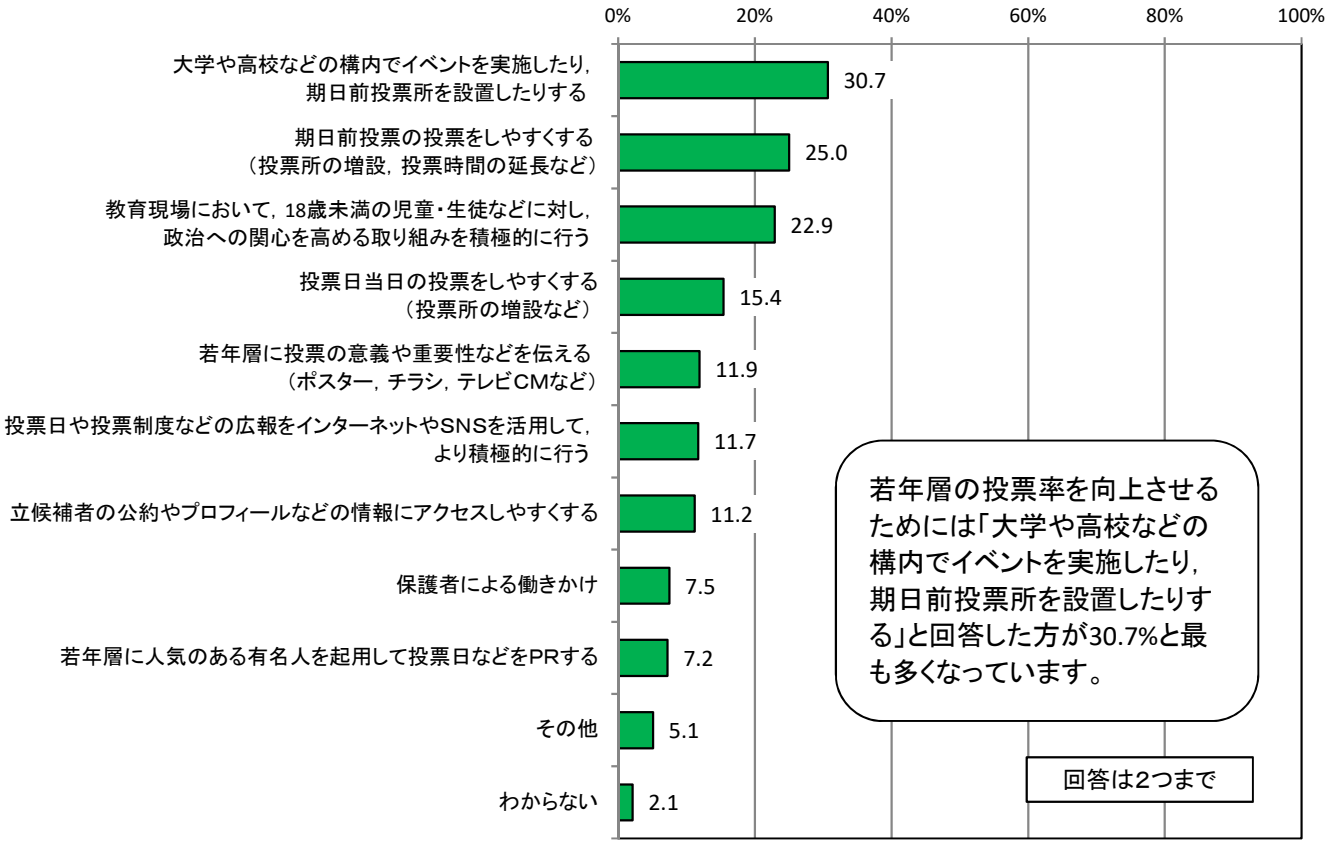
≪過去2回の選挙での投票状況≫





過去2回の選挙で6割以上の方が「2回とも投票した」と回答しています。「2回とも投票した」と回答した方は，年代別では，18～29歳で約3割，30代で約5割となっており，他の年代と比べて割合が低くなっています。

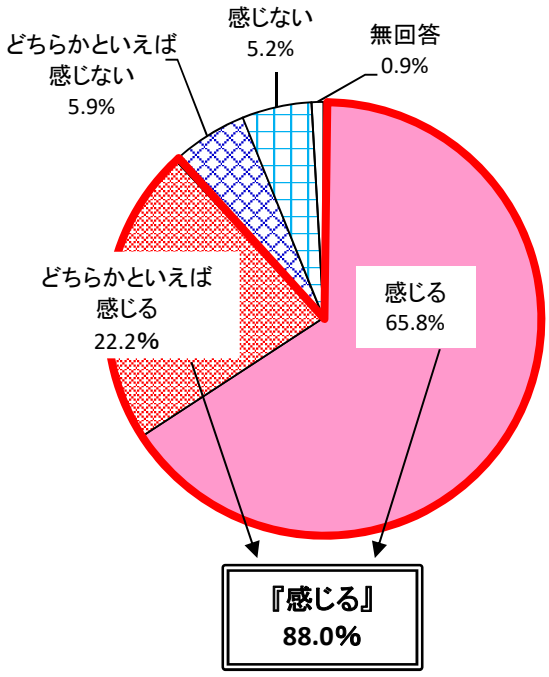
≪若年層の投票率を向上させるためにはどのようなことが必要か≫



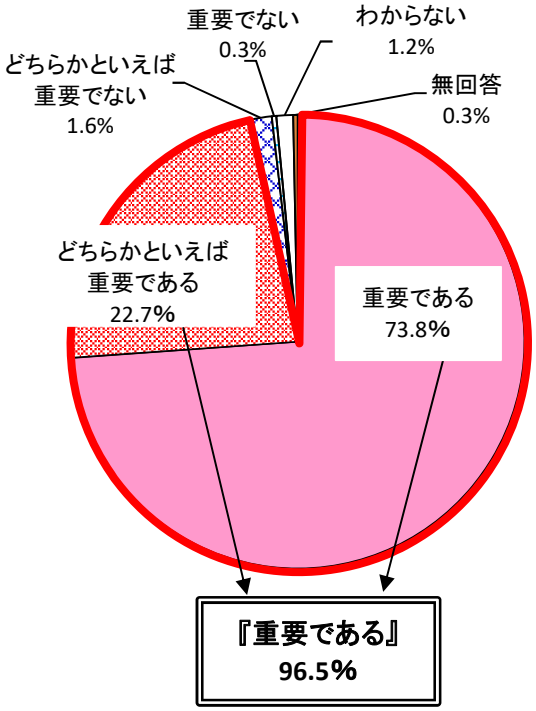
若年層の投票率を向上させるためには「大学や高校などの構内でイベントを実施したり，期日前投票所を設置したりする」と回答した方が30.7%と最も多くなっています。

④「浸水対策」について（N=573）

≪おおむね10年前と比べて雨の降り方が変わってきていると感じるか≫

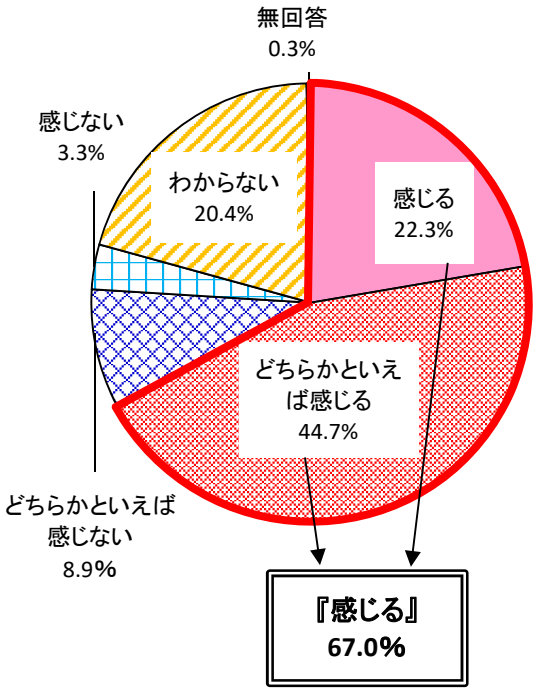


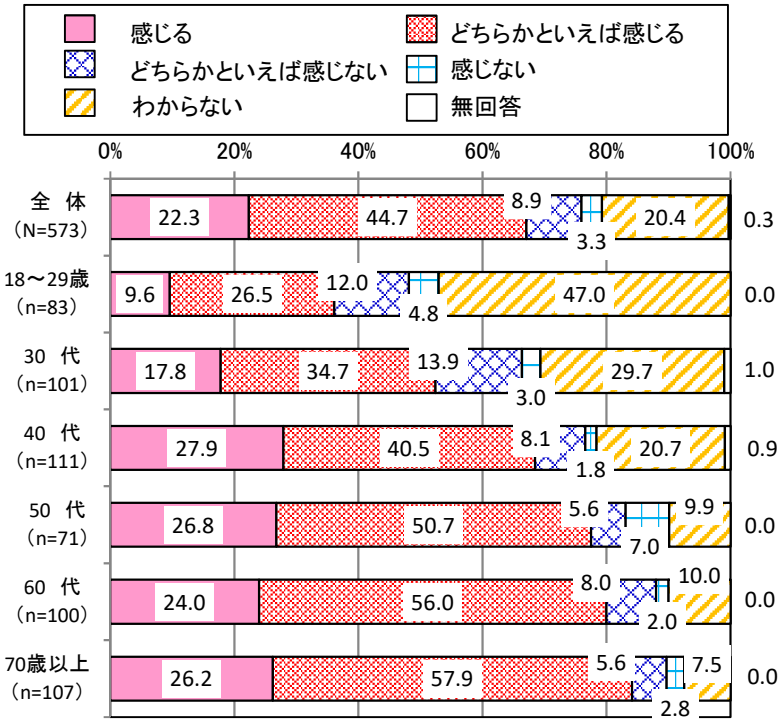
≪浸水対策は重要だと思うか≫



10年前と比べて雨の降り方が変わったと『感じる』と回答した方が全体の88.0%となっています。また浸水対策は重要だと思うかについて『重要である』と回答した方が全体の96.5%となってます。

≪浸水対策により，浸水被害が以前より軽減されたと感じるか≫

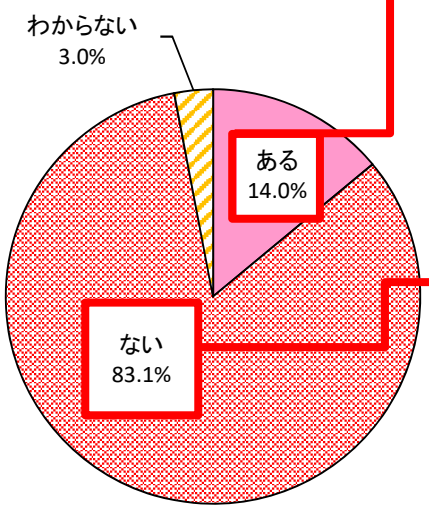




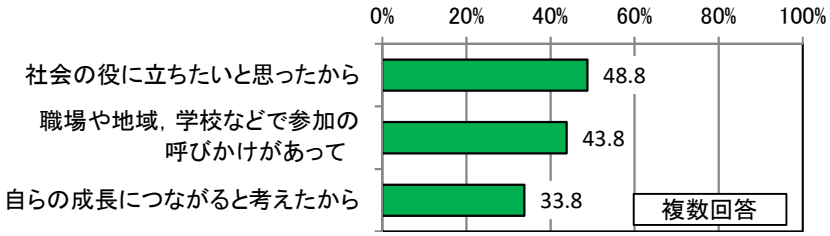
浸水対策により，浸水被害が以前より軽減されたと『感じる』と回答した方は全体の67.0%となっています。年代別に見ると，年齢が上がるにつれて，この割合が高くなっています。

⑤「NPOやボランティアなどの市民公益活動」について（N=573）

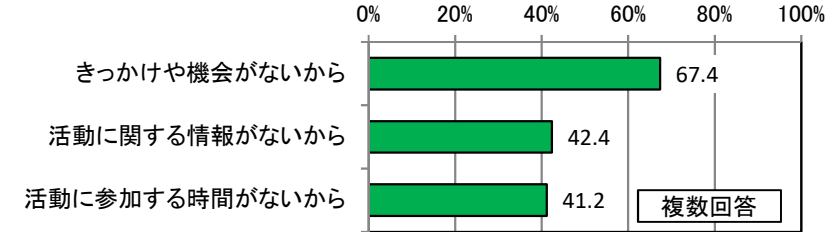
≪過去5年間の市民公益活動への参加経験≫



≪「ある」と回答した方の「きっかけ」≫上位3項目（n=80）

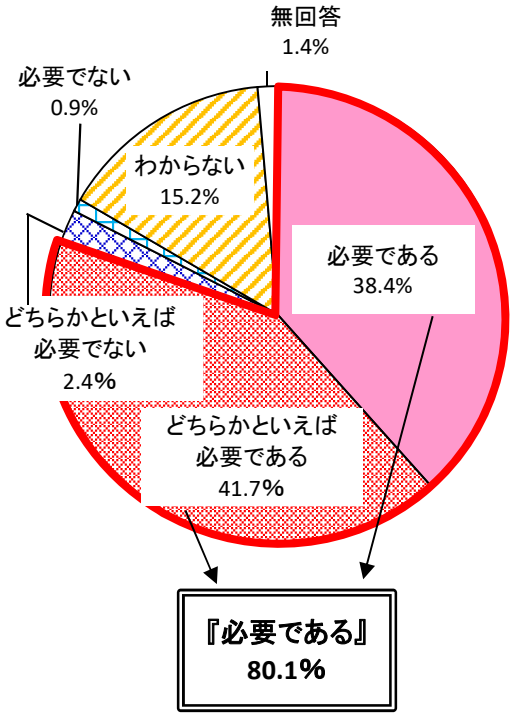


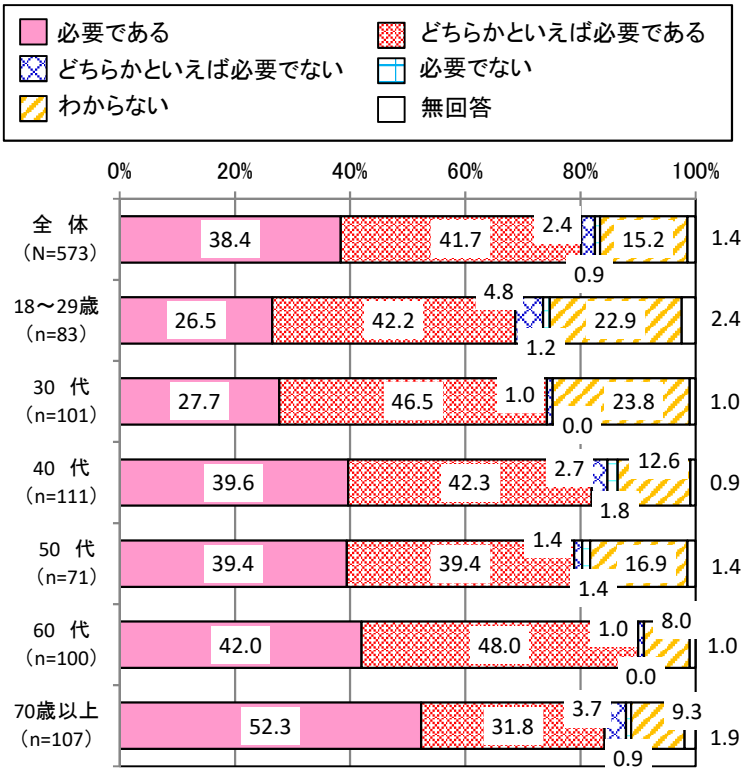
≪「ない」と回答した方の「理由」≫上位3項目（n=476）



過去5年間の市民公益活動への参加経験が「ある」と答えた方の参加のきっかけは「社会の役に立ちたいと思ったから」が48.8%，次いで「職場や地域，学校などの呼びかけがあって」が43.8%となりました。一方，参加経験が「ない」と答えた方の理由は「きっかけや機会がないから」が67.4%となりました。

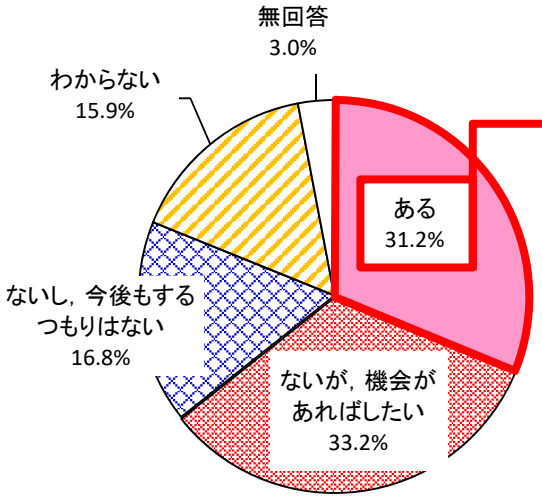
≪市民公益活動の必要性≫





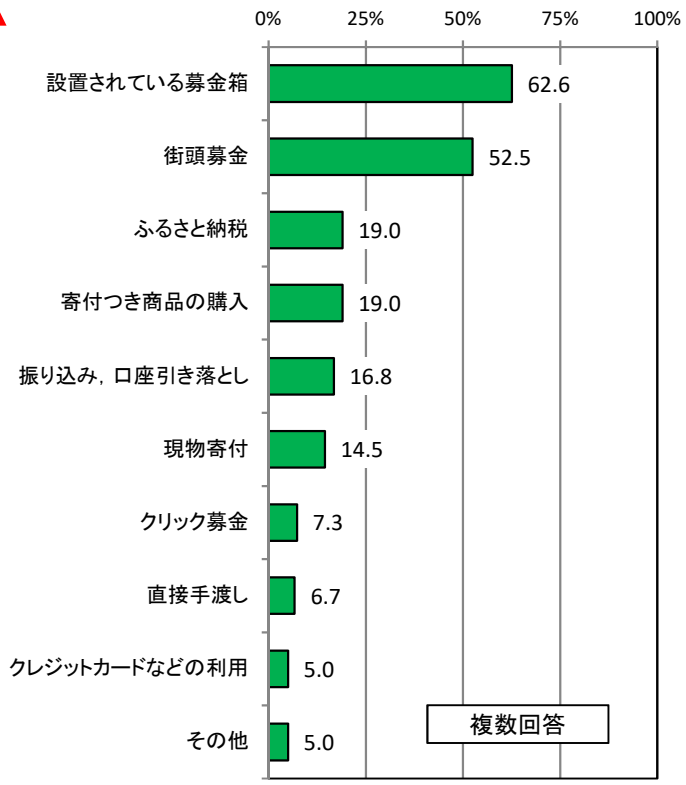
『必要である』と回答した方は全体の80.1%でした。年代別でみると，おおむね年代が上がるにつれて「必要である」と回答した方の割合が高くなっています。

≪直近１年間のNPOやボランティアなどの団体，公益活動基金などへの寄付の経験≫

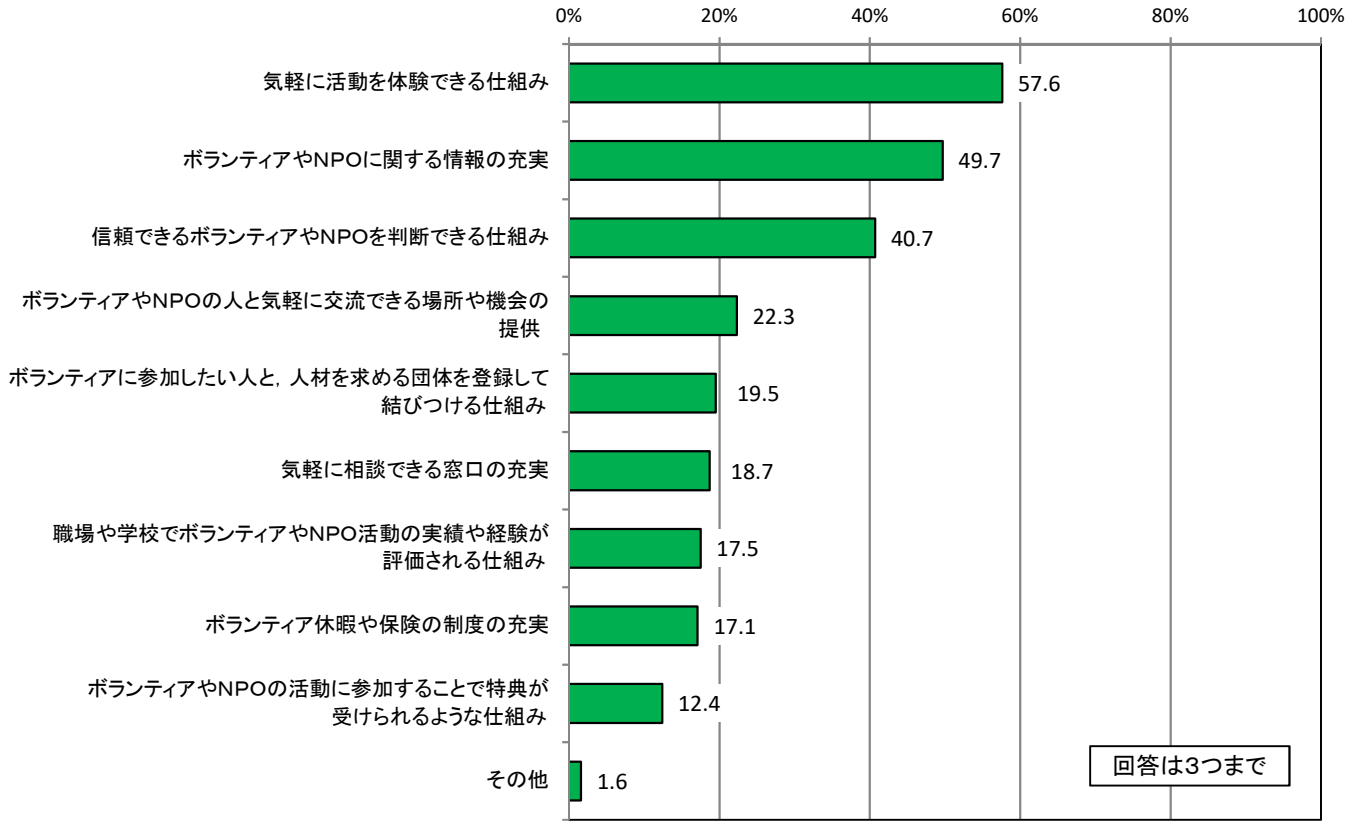


直近１年間に寄付したことが「ある」と回答した方のうち，「設置している募金箱」が62.6%，「街頭募金」が52.5%となっています。

≪「ある」と回答した方の寄付の方法≫（n=179）



≪市民公益活動に気軽に参加するために必要だと思う仕組みや施策≫



「気軽に活動を体験できる仕組み」が57.6%と最も多く，次いで「ボランティアやNPOに関する情報の充実」が49.7%，「信頼できるボランティアやNPOを判断できる仕組み」が40.7%となっています。

平成３０年度

第１回市政アンケート調査

■調査期間　平成 30 年 5 月 25 日～ 6 月 8 日
■調査対象者数 628 人
■回答者数　573 人
■有効回答率　　91.2%

〔テーマ・担当課〕

１．「熱中症対策」について
（担当課：環境局　環境保全課）

２．「環境保全の意識」について
（担当課：環境局　環境政策課）

３．「選挙」について
（担当課：選挙管理委員会事務局　選挙課）

４．「浸水対策」について
（担当課：道路下水道局　下水道事業調整課）

５．「ＮＰＯやボランティアなどの市民公益活動」について
（担当課：市民局　市民公益活動推進課）

〇ご記入いただいた個人情報は，市政アンケート調査の集計のために利用した上で，個人情報保護に関する法令などに基づき適正に管理いたします。

〇提出期間を過ぎて提出されると，皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので，**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

調査協力員番号		お名前	

※　調査協力員番号は　封筒の宛名シール　に記載しております。
（　返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。）

（提出期限）６月８日（金）までにポストに投函してください。

≪「熱中症対策」についておたずねします ≫

毎年，熱中症で多くの方が救急搬送されており，昨年は福岡市内でも 580 人が熱中症で救急搬送されました。誰でも熱中症になる可能性があり，重篤化すると死亡することもあります。
しかし，熱中症は予防法を知っていれば未然に防ぐことができます。また，発症しても適切な応急手当てをすることで重症化を防ぐことができます。
今後の熱中症予防啓発の参考にするため，熱中症対策についておたずねします。

問１　熱中症は，室温や気温が高い状態で体温調節が働かなくなり，さまざまな症状が現れます。熱中症の症状について，下の図の症状１２項目のうち，どの程度知っていましたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

＜　熱中症の症状　＞

軽症	中等症	重症
・めまい	・頭痛	・意識がない
・立ちくらみ	・吐き気	・まっすぐ歩けない
・汗がとまらない	・体がだるい	・けいれん
・こむら返り	・ぼーっとする	・体があつい（高体温）

1	よく知っていた（９～１２個）	45.7		
2	半分程度知っていた（５～８個）	45.2		
3	あまり知らなかった（１～４個）	8.0		
4	全く知らなかった	0.5	無回答	0.5

問２　福岡市では，熱中症による救急搬送者のうち，住宅内で発症し，搬送される方が最も多くなっています。住宅内でも熱中症になる可能性があることを知っていましたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

1	知っていた	93.4	2	知らなかった　6.6

問３　あなたは，これまで，熱中症になったかなと思ったときにどのような行動をとりましたか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

1	様子を見た，何もしなかった	5.6		
2	水分補給をした	72.4		
3	体を冷やした	38.6		
4	涼しい場所へ移動した	61.4		
5	休息をとった	55.5		
6	病院に行った（救急搬送を除く）	2.3		
7	救急車で搬送された	0.3		
8	その他	3.8		
9	熱中症のような症状になったことがない	23.6	無回答	0.2

問４　熱中症対策として，どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

1	扇風機を使う	55.8
2	エアコンを使う	82.4
3	こまめに水分補給をする	94.8
4	周囲の温度・湿度を確認する	33.2
5	栄養を十分にとる	37.0
6	睡眠を十分にとる	52.0
7	日頃から運動している	18.8
8	外に出かけるときは日傘や帽子を利用する	56.4
9	涼しい服装にする	51.7
10	図書館など空調の効いた屋内施設を利用する	14.5
11	熱中症に気を付けるよう家族や知人に声をかける	34.9
12	その他	4.2

問５　熱中症対策について，いつごろから意識して取り組んでいますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

1	５月ごろから	27.7
2	６月ごろから	22.5
3	７月ごろから	22.9
4	８月ごろから	1.9
5	特に時期は意識していない	24.3
無回答		0.7

問６　どのようなときに熱中症対策を意識しますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

1	暑いと感じてから	56.4
2	天気予報などで聞いてから	38.7
3	人から対策するよう言われてから	1.2
4	その他	2.4
無回答		1.2

問７　気温・湿度・暑さ指数（熱中症の発生しやすさの目安）など，その日の熱中症予防の参考となる情報をどこで手に入れていますか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

1	テレビ	92.3
2	ラジオ	18.3
3	新聞	25.0
4	福岡市ホームページ（暑さ指数情報）	3.5
5	インターネット（4を除く）	36.6
6	福岡市防災メールまたは福岡市LINE	9.8
7	福岡都市圏消防情報メール	0.7
8	メールサービス（６，７を除く）	4.7
9	温度計・湿度計	36.5
10	家族や知人などから	21.8
11	その他	0.9
12	手に入れていない	1.9

問８　熱中症対策について知りたいことは何ですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

1	熱中症の自覚症状	39.1
2	見落としがちな熱中症リスク	53.4
3	熱中症かもしれないと思った時の対応手順	68.8
4	熱中症による救急搬送事例	12.9
5	熱中症になりにくい体づくり	51.8
6	熱中症予防に効果的な料理	42.4
7	暑さ指数の活用の仕方	17.5
8	熱中症情報配信メールの登録方法	7.2
9	その他	1.2
10	知りたいことはない	3.0

≪「環境保全の意識」についておたずねします ≫

私たちを取り巻く環境問題は，東日本大震災を契機としたエネルギー問題をはじめ，ゲリラ豪雨，黄砂やＰＭ２．５といった越境大気汚染など，複雑多様化しており，環境啓発の推進に一層努める必要があります。

そこで，市民の皆さまの環境保全の意識や行動，環境問題についての関心度についておたずねし，環境啓発の推進に向けて効果的な施策を検討したいと考えております。

問９　環境を守ったり，良くしたりするためには，一人ひとりの行動が大切です。あなたは①日頃，次のことを実行していますか。また，②今後はどのようにお考えですか。（１）～（１６）のそれぞれの項目について，あてはまるものを１つずつ選び，番号に○をつけてください。

		①現在					②今後				
		いつも実行している	たまに実行している	実行していない	該当しない	無回答	実行したい	どちらかといえば実行したい	どちらかといえば実行したくない	実行したくない	無回答
物を買うとき	(1)買い物のとき，マイバックを持参するなどして，レジ袋を断っている	42.8	41.4	15.9		－	60.6	28.8	5.4	2.6	2.6
	(2)エコマーク・グリーンマークなどのついた，環境に優しい製品を購入するよう心がけている	7.0	34.0	58.1		0.9	23.2	62.7	8.9	2.4	2.8
	(3)同じものであれば，近くでとれた農産品を買うようにしている	32.3	42.9	23.4		1.4	48.5	41.5	4.7	1.9	3.3
自宅で過ごすとき	(4)使用していない照明や家電製品を消すなど，節電に気をつけている	68.1	27.2	4.2		0.5	84.5	11.2	0.5	0.3	3.5
	(5)台所で，食用油や食べ残しを排水口から流さないようにしている	74.0	16.6	8.4		1.0	83.4	11.0	0.9	0.7	4.0
	(6)皿洗いや洗濯の時に，洗剤を使いすぎないようにしている	53.8	29.1	16.1		1.0	71.6	21.3	2.1	0.7	4.4
	(7)水を出しっぱなしにしないなど，節水に気をつけている	72.6	22.9	3.7		0.9	85.5	9.6	0.9	0.2	3.8
	(8)エアコン使用時の室温は，おおむね冷房時は28℃以上，暖房時は20℃以下になるよう心がけている	24.4	41.2	30.9	2.4	1.0	39.8	40.1	12.4	4.0	3.7
	(9)屋上や壁面，ベランダ，庭で植物を育て，緑化に取り組んでいる	26.2	19.0	47.5	6.1	1.2	35.8	34.7	15.5	9.6	4.4
	(10)物を無駄にしないことを心がけて，できるだけごみを出さないようにしている	36.5	46.1	16.8		0.7	60.7	33.0	1.9	0.5	3.8
	(11)ごみの分別や出し方のルールを守っている	90.9	7.9	0.7		0.5	91.8	3.3	0.9	－	4.0
	(12)古紙などは，リサイクルステーションや地域集団回収へ持って行くようにしている	65.1	14.8	19.2		0.9	71.4	18.2	5.2	1.2	4.0
	(13)近隣の生活環境に配慮して騒音に気をつけている	81.3	16.8	1.4		0.5	84.6	9.9	1.0	0.2	4.2
外出するとき	(14)外出の際はなるべく自動車を使わず，徒歩や自転車，電車などの公共交通機関を利用するようにしている	40.8	36.0	22.7		0.5	48.7	37.7	7.5	3.3	2.8
	(15)自動車を使用するときは，不要なアイドリングや空ふかし，急発進などをしないようにしている	59.0	14.7	2.6	20.8	3.0	71.6	10.8	0.2	3.1	14.3
	(16)外食の際には，注文した料理を残さず食べるようにしている	78.5	17.8	2.1	0.9	0.7	85.2	10.3	0.3	0.9	3.3

問１０　あなたは環境に関して，市・区役所や地域の環境団体（環境活動を行っている団体）などの活動に，①過去１年以内に参加したことがありますか。また，②今後はどのようにお考えですか。（１）～（４）のそれぞれの項目について，あてはまるものを１つずつ選び，番号に○をつけてください。

	①１年以内			②今後				
	参加したことがある	参加したことがない	無回答	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	無回答
（1）自然保護活動（緑地保全，河川・海岸清掃，自然観察会など）	13.1	85.9	1.0	9.8	46.4	32.5	7.9	3.5
（2）リサイクル活動（地域集団回収，フリーマーケットの開催，廃油石けん作りなど）	23.2	75.9	0.9	15.0	37.3	33.9	9.4	4.4
（3）再生可能エネルギー・省エネルギーの普及啓発活動（太陽光発電や節電に関する講座，イベントへの参加など）	5.9	93.2	0.9	10.1	39.1	36.5	10.6	3.7
（4）環境美化活動（地域清掃，緑化活動，花壇の整備など）	34.2	64.4	1.4	23.4	41.0	26.2	5.6	3.8

１つでも「３」「４」と回答した方は問１０－１へ

問１０－１　≪　問１０で「３」「４」と１つでも回答した方におたずねします。　≫
そのように考える理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝341

1	参加できる活動などの情報がないから	27.6
2	活動を行っている団体などの情報がないから	26.7
3	時間帯の都合が合わないから	47.5
4	活動に割くための時間がないから	40.5
5	費用がかかるから（交通費や参加費など）	10.3
6	一人では参加しにくいから（一緒に参加する仲間がいないから）	34.9
7	参加しても，どの程度，環境保全に役立つのかわからないから	17.9
8	健康上の理由で，活動に参加することが難しいから	15.0
9	興味がないから	22.0
10	その他	7.9
無回答		0.6

≪　すべての方におたずねします。 ≫

問１１　あなたは，環境問題についてどのような情報に①関心がありますか。また，②どれくらい情報を取得していると感じますか。（１）～（１５）のそれぞれの項目について，あてはまるものを<u>１つずつ</u>選び，番号に○をつけてください。

	①関心					②情報				
	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答	情報を得ている	どちらかといえば情報を得ている	どちらかといえば情報を得ていない	情報を得ていない	無回答
(1)大気汚染や水質汚濁，騒音・振動など公害問題	42.9	46.8	7.9	1.7	0.7	10.8	44.5	34.4	8.4	1.9
(2)まちなみ景観や地域の清掃・美化など	33.3	50.6	12.9	2.3	0.9	7.2	36.6	41.4	12.6	2.3
(3)まちなかの緑や水辺など都市のうるおい	34.2	47.8	13.1	3.7	1.2	5.2	31.1	45.2	15.9	2.6
(4)都心部などでのヒートアイランド現象	30.0	43.3	19.4	6.5	0.9	6.5	28.3	45.4	17.5	2.4
(5)生きものの種類や数，生息する場所といった生物多様性	21.8	43.1	26.5	7.7	0.9	4.5	18.8	47.3	26.5	2.8
(6)地球温暖化，オゾン層の破壊，酸性雨，砂漠化など地球環境問題	40.5	44.3	11.3	2.8	1.0	9.2	38.6	37.9	11.7	2.6
(7)太陽光発電・水力発電・風力発電などの再生可能エネルギー	31.9	45.4	16.6	5.1	1.0	10.6	32.5	39.6	14.8	2.4
(8)省エネ，省資源・リサイクル，節水など日常生活での工夫の仕方	44.9	44.7	7.9	2.1	0.5	14.5	46.6	29.1	7.9	1.9
(9)購入する製品・サービスが環境に与える影響	24.8	45.7	22.7	5.6	1.2	7.0	28.4	42.6	19.4	2.6
(10)自然と触れ合うための施設やイベント	23.2	44.9	23.0	8.0	0.9	4.5	25.7	47.5	19.7	2.6
(11)環境に関する展示会・講演会・セミナー	8.7	33.7	41.0	15.9	0.7	1.7	16.4	46.4	33.2	2.3
(12)環境問題に困った場合の相談の窓口	13.8	37.3	33.7	14.5	0.7	1.7	10.1	45.5	40.1	2.4
(13)環境問題に対する国・県・市の取り組み	19.7	48.9	23.2	7.3	0.9	2.4	20.9	47.8	26.4	2.4
(14)環境を守ったり良くしたりするために，市民・市民団体が行う活動	11.2	45.0	32.6	10.3	0.9	1.4	16.8	49.6	30.0	2.3
(15)環境を守ったり良くしたりするために，企業が行う活動	15.2	48.3	26.9	8.9	0.7	2.8	18.0	48.2	29.0	2.1

問１２　あなたは，環境問題に関する情報を，どのように入手していますか。あてはまるものをすべて選び，番号に〇をつけてください。

1	福岡市政だより・公民館だより・市のパンフレットから	66.3
2	新聞から	45.2
3	雑誌から	12.2
4	テレビから	82.0
5	ラジオから	14.8
6	市メール配信サービスまたは市 LINE（ライン）から（熱中症情報，ごみ出しメール，PM2.5・黄砂情報など）	8.4
7	市のホームページから	4.0
8	ブログや SNS（ツイッター，フェイスブックなど）から	10.5
9	上記（7，8）を除く，インターネットサイトから	19.4
10	家族・友人・知人から	24.3
11	仕事を通じて	17.8
12	学校での授業や課外活動などを通じて	4.2
13	ＰＴＡ・自治会などの地域の活動を通じて	10.6
14	ＮＰＯ・ボランティア活動を通じて	1.9
15	展示会・講演会・セミナー・シンポジウムなどから	5.2
16	入手しない	1.9
17	その他	0.2

≪「選挙」についておたずねします ≫

選挙は間接民主制の基盤です。有権者は積極的に投票し，自分たちの意見を正しく政治に反映させることが大切です。しかしながら，近年における選挙の投票率は低下傾向にあるため，福岡市では，選挙に関する情報の発信や，政治への関心を高めていただくための取り組みを行っております。
そこで，選挙の啓発・広報について，市民の皆さまのご意見をお聴きしたいと考えております。

問１３　あなたは，過去２回の選挙（平成２８年７月１０日参議院議員通常選挙，平成２９年１０月２２日衆議院議員総選挙）で投票しましたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

1	２回とも投票した	64.7
2	１回投票した	10.8
3	どちらも投票しなかった	18.5
無回答		5.9

問１３－１　≪　問１３で「２」「３」と回答した方におたずねします。 ≫
投票していない理由は何ですか。最もあてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。　n＝168

1	仕事などが忙しく，時間がないから	30.4
2	病気（看病を含む），または体調が悪いから	4.8
3	投票に行くのが面倒だから	5.4
4	投票所が遠い（不便，わからない）から	1.2
5	投票日を知らない，または忘れるから	3.0
6	適当な候補者がいないから	12.5
7	候補者に関する情報がわからないから	6.0
8	自分一人が投票しなくても選挙の結果に影響がないと思うから	3.0
9	選挙によって政治や暮らしに影響があると思わないから	3.0
10	選挙権がないから	5.4
11	政治や選挙には関心がないから	6.0
12	その他	10.7
無回答		8.9

≪　すべての方におたずねします。　≫

問１４　平成２９年１０月２２日に行われた衆議院議員総選挙の際，福岡市では投票日や投票制度などの広報を実施しましたが，あなたが気づいた広報は次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

1	市の関連施設（区役所，市民センター，公民館，体育館等）に掲出したポスター	55.1
2	市の関連施設（区役所，市民センター，公民館，体育館等）に掲出したのぼり	24.1
3	区役所・出張所に掲出した横断幕・懸垂幕	17.8
4	地下鉄駅での広報（ポスター掲出，電光掲示板のテロップ表示）	25.1
5	啓発動画（天神や博多駅の大型ビジョン，市役所１階デジタルサイネージ（電子看板））	6.1
6	市政だより	63.2
7	市運営の選挙に関するホームページ	2.3
8	市運営のメールマガジンやSNS（ツイッター，ライン）での広報	1.6
9	フリーペーパー（ファンファン福岡）への広告掲載	3.8
10	広報車の運行（立候補者の選挙運動用自動車は除く）	14.7
11	啓発物資（ポケットティッシュ・ウエットティッシュ・マスク）の配布	3.7
12	街頭啓発	17.6
13	その他	3.0
14	気づいたものはない	9.1
無回答		0.2

問１５　福岡市では，選挙が近くなると，投票日や投票制度などの広報を実施していますが，あなたが効果的だと思う広報は次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

1	テレビCM	80.5
2	ラジオCM	27.2
3	市政だより（「せんきょかわら版」を含む）	57.8
4	市運営の選挙に関するホームページ	8.6
5	市運営のメールマガジン，SNS（ツイッター，フェイスブック，ラインなど）での広報	11.7
6	街頭啓発や模擬投票などのイベント	11.7
7	啓発物資（ポケットティッシュなど）の配布	10.1
8	新聞への広告掲載	43.8
9	地域情報誌やフリーペーパーへの広告掲載	13.6
10	インターネット検索サイトやSNSへの広告掲載	27.2
11	電車・バス車内での広告掲示	52.9
12	街路灯にぶら下げる旗状の広告（バナーフラッグ）掲示	13.6
13	音声放送や広告看板を掲載した自動車の運行（立候補者の選挙運動用自動車は除く）	14.3
14	駅構内での広報（ポスター・放送・チラシ・電光表示器など）	34.2
15	デパートやショッピングセンターでの広報（ポスター・放送・チラシなど）	24.6
16	コンビニエンスストアでの広報（レジ広告・店内放送・チラシなど）	35.3
17	大学や高校内での広報（ポスター・チラシ・のぼりなど）	16.9
18	その他	0.7

問１６　福岡市では，選挙が近くなると，投票の日時や場所などの広報を実施していますが，あなたがこれら以外に必要だと思う情報は次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

1	期日前投票の日時や場所	71.9
2	投票方法（投票の流れや持参物，投票用紙への記載内容など）	26.9
3	入院などの理由により，病院や老人ホームなどの施設で投票する制度の説明	29.5
4	出張などの理由により，市外で投票する制度の説明	23.2
5	体に障がいのある方などが郵便で投票する制度の説明	23.2
6	立候補者に関する情報（政見やマニフェストなど）	51.0
7	過去の選挙の投票結果や投票率	14.3
8	その他	2.1
9	特に必要だと思う情報はない	8.0
10	わからない	2.4

問１７　若年層の投票率を向上させるためには，どのようことが必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを２つまで選び，番号に○をつけてください。

1	投票日当日の投票をしやすくする（投票所の増設など）	15.4
2	期日前投票の投票をしやすくする（投票所の増設，投票時間の延長など）	25.0
3	大学や高校などの構内でイベントを実施したり，期日前投票所を設置したりする	30.7
4	投票日や投票制度などの広報をインターネットやＳＮＳを活用して，より積極的に行う	11.7
5	若年層に人気のある有名人を起用して投票日などをＰＲする	7.2
6	立候補者の公約やプロフィールなどの情報にアクセスしやすくする	11.2
7	若年層に投票の意義や重要性などを伝える（ポスター，チラシ，テレビＣＭなど）	11.9
8	教育現場において，１８歳未満の児童・生徒などに対し，政治への関心を高める取り組み（模擬選挙の実施など）を積極的に行う	22.9
9	保護者による働きかけ（日頃から家庭の中で政治の話をするような取り組みなど）	7.5
10	その他	5.1
11	わからない	2.1
無回答		20.8

選挙制度や投票区・投票所一覧など選挙に関する情報をご覧いただけます。

福岡市選挙管理委員会ホームページ「選挙に行きましょ」
アドレス　http://www.city.fukuoka.lg.jp/senkyo/

選挙に行きましょ　検索

≪「浸水対策」についておたずねします ≫

福岡市では，これまで，浸水被害を軽減するため，大きな雨水管の新設や，雨水を強制的に河川などに排除するポンプ場の整備の浸水対策を実施してきました。
今後も継続して雨に強いまちづくりを進めるため，市民の皆様の浸水対策に関する意識・関心度についてご意見をお聴きしたいと考えております。

福岡市における近年の甚大な浸水被害

日時	1時間あたりの最大雨量	市内の被害状況
平成11年6月29日	79.5ミリ	死者1名
		床上浸水1,019棟
		床下浸水2,154棟
平成15年7月19日	104ミリ	床上浸水875棟
		床下浸水846棟
平成21年7月24日	116ミリ	床上浸水256棟
		床下浸水866棟

平成 15 年 7 月 19 日（博多駅周辺）

福岡市における近年の主な浸水対策

プラン名（計画期間）	主な対策の内容
雨水整備Doプラン（平成12～30年度）	①大きな雨水管の整備
	②大きな雨水管の整備
	③雨水貯留施設整備・浸透機能の向上
雨水整備レインボープラン博多（平成16～24年度）	①雨水排水機能の強化
	②ポンプ場の新設及び増強
	③雨水貯留管整備・浸透機能の向上
	④山王公園の地下に雨水調整池整備
雨水整備レインボープラン天神（平成21～30年度）【第一期事業】	①雨水排水機能の強化
	②雨水貯留管整備・浸透機能の向上

「雨水整備レインボープラン天神」

現在整備中の雨水幹線

（長浜～那の津間 内径 5.0m）

問１８　あなたは，おおむね１０年前と比べて雨の降り方が変わってきていると感じますか。あてはまるものを<u>１つだけ</u>選び，番号に○をつけてください。

１　感じる	65.8
２　どちらかといえば感じる	22.2
３　どちらかといえば感じない	5.9
４　感じない	5.2
無回答	0.9

問１９　今後，福岡市において，甚大な浸水被害が発生するかもしれないという不安をあなたはどの程度感じますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１　感じる	39.6
２　どちらかといえば感じる	40.7
３　どちらかといえば感じない	15.4
４　感じない	4.0
無回答	0.3

問２０　福岡市では，平成１１年６月の豪雨による甚大な浸水被害以降，前ページのプランに基づき浸水対策を実施してきました。あなたは，これらの対策により浸水被害は以前より軽減されたと感じますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１　感じる	22.3
２　どちらかといえば感じる	44.7
３　どちらかといえば感じない	8.9
４　感じない	3.3
５　わからない	20.4
無回答	0.3

問２１　あなたは，今後も福岡市において，浸水対策は重要だと思いますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１　重要である	73.8
２　どちらかといえば重要である	22.7
３　どちらかといえば重要でない	1.6
４　重要でない	0.3
５　わからない	1.2
無回答	0.3

問２２　浸水対策を優先すべき地区として，あなたの考え方に近いものを２つまで選び，番号に○をつけてください。

１　地盤が低く浸水しやすい地区	79.9
２　大きな地下街がある地区	46.1
３　商業施設，事業所などが多くある地区	9.1
４　交通量の多い幹線道路に面した地区	24.4
５　上記の地区に関わらず，市内の各地区を均等に対策すべき	23.0
無回答	0.5

≪「NPOやボランティアの市民公益活動」についておたずねします ≫

みんなが住みよいまちをつくっていくためには，市民が自主的・自発的に取り組んでいる「市民公益活動」※1を，いっそう活発にしていく必要があります。
福岡市では，「ＮＰＯ」※2やボランティアなどの市民公益活動団体の活動を活性化し，「共働」※3によるまちづくりを推進する施策をすすめるにあたって，市民の皆さまのご意見をお聞きしたいと考えております。お忙しい中誠に恐縮ですが，ご協力をお願いします。

※１「市民公益活動」とは，社会一般の利益となる活動で，市民，自治組織，NPO，企業や学校などが営利を目的とせず，自発的に行う活動をさします。
※２「ＮＰＯ」とは「Non Profit Organization（非営利団体）」の略語で，営利を目的とせず，さまざまな社会貢献活動を行うための組織や団体のことをいいます。その中でも所轄庁の認証を受け，法人格を取得した組織や団体を「ＮＰＯ法人」といいます。
※３「共働」とは，相互の役割と責任を認め合いながら，対等の立場で知恵と力を合わせて共に行動することをいいます。

※今回のアンケートでは，自治会，町内会などの自治組織の活動は除いた「市民公益活動」についておたずねします。

問２３　あなたは，過去５年間に，ＮＰＯやボランティアの市民公益活動に参加した経験がありますか。
あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１	ある	14.0
２	ない	83.1
３	わからない	3.0

問２３－１　≪　問２３で「１」と回答した方におたずねします。　≫
活動に参加した理由，きっかけについて，あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝80

1	自らの成長につながると考えたから	33.8
2	社会の役に立ちたいと思ったから	48.8
3	実際に活動している人に接して	25.0
4	家族や友人に勧められて	21.3
5	職場や地域，学校などで参加の呼びかけがあって	43.8
6	講座・研修，イベントなどに参加して	13.8
7	マスコミやインターネットで知って	2.5
8	その他	6.3

問２３－２　≪　問２３で「１」と回答した方におたずねします。　≫
どのような分野の活動に参加しましたか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝80

1	保健・医療・福祉	22.5
2	教育・研究	5.0
3	まちづくり・まちおこし	23.8
4	芸術・文化・スポーツ	16.3
5	自然・環境保全	30.0
6	災害救助支援	16.3
7	地域安全	15.0
8	人権・平和	5.0
9	国際協力・交流	10.0
10	子ども・青少年育成	23.8
11	その他	5.0
無回答		11.3

問２３－３　≪　問２３で「２」と回答した方におたずねします。　≫

活動に参加したことがない理由について，あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝476

1	きっかけや機会がないから	67.4
2	活動に関する情報がないから	42.4
3	活動に参加する時間がないから	41.2
4	活動に経費がかかるから	9.9
5	参加手続きがわからないから	18.3
6	身近に参加したいと思うボランティアやＮＰＯがないから	21.0
7	一緒に参加する仲間がいないから	20.4
8	職場や家庭，周囲の理解が得られないから	2.9
9	ボランティア休暇や保険などの制度が活用できないから	4.2
10	人間関係が面倒だから	12.0
11	健康上の理由	13.7
12	活動に関心がないから	12.4
13	役に立っていると思えないから	2.7
14	その他	4.6
無回答		0.2

≪　すべての方におたずねします。　≫

問２４　あなたは，福岡市をより住みやすいまちにするために，ＮＰＯやボランティアが行っている市民公益活動が必要であると思いますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

1	必要である	38.4
2	どちらかといえば必要である	41.7
3	どちらかといえば必要でない	2.4
4	必要でない	0.9
5	わからない	15.2
無回答		1.4

問２５　あなたは，今後，市民がＮＰＯやボランティアの市民公益活動に気軽に参加できるようになるために，どのような仕組みや施策が必要だと思いますか。あてはまるものを３つまで選び，番号に○をつけてください。

1	気軽に活動を体験できる仕組み	57.6
2	ボランティアやＮＰＯに関する情報の充実	49.7
3	気軽に相談できる窓口の充実	18.7
4	ボランティアやＮＰＯの人と気軽に交流できる場所や機会の提供	22.3
5	信頼できるボランティアやＮＰＯを判断できる仕組み	40.7
6	職場や学校でボランティアやＮＰＯ活動の実績や経験が評価される仕組み	17.5
7	ボランティア休暇や保険の制度の充実	17.1
8	ボランティアに参加したい人と，人材を求める団体を登録して結びつける仕組み	19.5
9	ボランティアやＮＰＯの活動に参加することで特典が受けられるような仕組み	12.4
10	その他	1.6
無回答		2.8

問２６　あなたは，ＮＰＯやボランティアの市民公益活動についての情報をどこから得たいですか。あてはまるものを３つまで選び，番号に○をつけてください。

1	市政だよりやホームページなどの市の広報媒体	69.8
2	公共施設のチラシや情報誌，ポスター	45.5
3	福岡市ＮＰＯ・ボランティア交流センター「あすみん」	7.0
4	新聞・テレビなどのマスコミ	64.2
5	ボランティア・ＮＰＯのホームページ，メールマガジンなど	7.9
6	ツイッター，フェイスブックなどのソーシャルメディア	18.5
7	家族や知人・友人	11.9
8	職場や地域・学校など	27.9
9	その他	1.0
無回答		0.9

問２７　NPO 法人やボランティア団体が行う市民公益活動にあたっては，「寄付」※が重要な活動原資のひとつとなっています。あなたは，直近１年間にＮＰＯやボランティアなどの団体，公益活動基金などに寄付をしたことがありますか（ふるさと納税を通じた団体への寄付も含みます）。また，今後する寄付するつもりがありますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

※この調査では，寄付をする人が，その金額や品物，寄付するかしないかを自由に決めることができるものを「寄付」といいます。

１	ある	31.2
２	ないが，機会があればしたい	33.2
３	ないし，今後もするつもりはない	16.8
４	わからない	15.9
無回答		3.0

問２７－１　≪　問２７で「１」と回答した方におたずねします。　≫
どのような方法で寄付をしましたか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝179

１	設置されている募金箱	62.6
２	街頭募金	52.5
３	直接手渡し	6.7
４	振り込み，口座引き落とし	16.8
５	クレジットカードなどの利用（ポイントの利用を含みます）	5.0
６	ふるさと納税	19.0
７	現物寄付（入れ歯，貴金属，書き損じはがき，使用済み切手，不動産など）	14.5
８	寄付つき商品の購入（寄付つき自動販売機など）	19.0
９	クリック募金	7.3
10	その他	5.0
無回答		0.6

問２７－２　≪　問２７で「１」と回答した方におたずねします。　≫
寄付をした理由，きっかけについて，あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝179

1	社会の役に立ちたいと思ったから	76.0
2	自分が支援したいＮＰＯやボランティアなどの団体であったから	30.2
3	自分が直面している社会課題の解決に必要だから	8.9
4	毎年のことだから	13.4
5	家族や友人，同僚にすすめられて	4.5
6	職場や学校の取り組みの一環として	15.1
7	ふるさと納税の返戻品を目的として	11.7
8	申告により税金が還付されるから	10.6
9	その他	5.0
無回答		3.4

問２７－３　≪　問２７で「２」「３」と回答した方におたずねします。　≫
寄付をしなかった理由について，あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝286

1	どこに寄付していいのかわからないから	42.7
2	寄付したい団体が見当たらないから	29.0
3	寄付するきっかけがないから	41.6
4	寄付の手続きがわかりにくいから	22.7
5	寄付をしても社会の役に立つかどうかわからないから	38.1
6	寄付する経済的な余裕がないから	36.7
7	その他	4.5

≪　すべての方におたずねします。　≫

問２８　あなたは，NPO やボランティア団体などへの寄付を促すためには，どのような条件整備が必要だと思いますか。あてはまるものを３つまで選び，番号に○をつけてください。

1	寄付金の使途があらかじめ示されている	83.4
2	活動や組織が充実している寄付先（団体等）が増加する	26.5
3	寄付者の税制上の優遇措置を拡充させる	25.1
4	寄付金がどう使われたのかを寄付者へ報告する	63.2
5	寄付者への記念品など特典を設ける	13.8
6	インターネットなどでクリック一つで簡単に寄付できる仕組みを整備する	25.1
7	その他	1.7
無回答		3.0

問２９　福岡市では，個人や企業からいただいた寄付金をもとにＮＰＯ法人が行う公益的な事業に対し助成を行うため，福岡市ＮＰＯ活動支援基金（愛称：あすみん夢ファンド）を設置していますが，あなたは，この基金を知っていましたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１	知っていた	4.0
２	知らなかった	95.5
無回答		0.5

問３０　あなたは，市（行政）が行うＮＰＯやボランティアなどの市民公益活動推進施策として，どのようなものが必要だと思いますか。あてはまるものを３つまで選び，番号に○をつけてください。

１	ＮＰＯなど市民公益活動団体に関する情報提供	63.5
２	ＮＰＯに対する活動資金の助成	23.6
３	ボランティア活動などをしたい市民や企業とＮＰＯ等との橋渡し	44.3
４	ＮＰＯと自治会等との橋渡し	15.5
５	ＮＰＯを評価する仕組みの構築	25.3
６	ＮＰＯからの提案に基づいて，ＮＰＯと行政が共働して事業を行う取り組み	20.9
７	市民公益活動に関する学校教育	21.1
８	行政職員の意識向上	16.8
９	その他	1.4
10	わからない	9.2
無回答		0.7

お忙しい中，調査にご協力いただき，ありがとうございました。
記入漏れや，誤りがないか再度確認の上，同封の返信用封筒にて
ご返送をお願いします。

性別

男性	44.9	女性	55.1

年齢

18～29 歳	14.5	30 代	17.6	40 代	19.4
50 代	12.4	60 代	17.5	70 代以上	18.7

職業

会社員・団体職員	35.3	公務員	3.1	契約社員・派遣社員	6.3
パート・アルバイト	13.4	自営業	5.4	主婦・主夫	18.2
学生	4.0	無職	12.6	その他	1.7

行政区

東区	19.9	博多区	13.6	中央区	13.6	南区	17.3
城南区	8.6	早良区	13.4	西区	13.6		

居住年数

３年未満	10.8	３年以上５年未満	6.5	５年以上 10 年未満	11.5
10 年以上 20 年未満	15.7	20 年以上 30 年未満	17.5	30 年以上	38.0

居住形態

持家の戸建て	29.0	持家の集合住宅	27.1	借家の戸建て	2.8
借家の集合住宅	36.3	施設・社宅・寮	3.7	その他	1.2

活用しよう！

福岡市防災メール

福岡市防災メール　検索

福岡市LINE公式アカウント

LINE公式アカウント名：福岡市
LINE ID：@fukuokacity

福岡市域が熱中症になりやすい気象状況になると予測したときに情報を配信します。

二次元バーコード読み取り機能付の携帯電話でも見ることができます。

福岡都市圏消防情報メール

救急出動情報や熱中症に関する情報を提供しています。（不定期）

福岡都市圏消防情報メール　検索

ホームページ「熱中症情報」

毎日の暑さ指数の予測情報や市内の救急搬送者数の状況などを掲載しています。

福岡市　熱中症情報　検索

出前講座「熱中症にご用心！」

無料

熱中症の予防法や、熱中症かなと思った時の対処法などを、職員が皆さんのところへ訪問してお話します。団体での勉強会等にご利用ください。
校区ごとの熱中症搬送者数など、地域に合わせたお話もできます。

クールシェアふくおか

福岡市ではクールシェアの取り組みを実施しています。省エネしながら涼しく過ごしましょう。お得な特典付きスポットもあります。

COOL SHARE ふくおか

クールシェアふくおか　検索

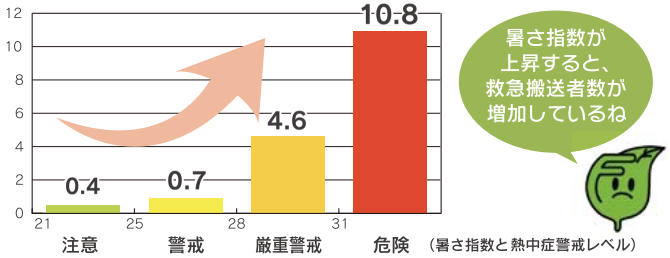
暑さ指数について

暑さ指数とは？

熱中症のなりやすさの指標で気温と湿度と輻射熱※を組み合わせたものです。

※地面や建物、体から出る熱

1日あたりの救急搬送者数（人／日）（平成29年、福岡市）



気温[℃]（参考）	暑さ指数[℃]	熱中症警戒レベル	熱中症予防のための行動の目安
35	31	危　険	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
31	28	厳重警戒	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
28	25	警　戒	運動や激しい作業をする際は、定期的に十分な休息を取り入れる。
24	21	注　意	熱中症の危険性は小さいが、熱中症の兆候に注意。マラソンなどをする際には注意する。
		（ほぼ安全）	

参考：日本生気象学会日常における熱中症予防指針VER.3(2013)　日本体育協会　熱中症予防のための運動指針(2006)

お問い合わせ先

熱中症に関する情報・出前講座について	環境局環境保全課	TEL:092-733-5386	FAX:092-733-5592
予防法について	保健福祉局保健予防課	TEL:092-711-4270	FAX:092-733-5535
応急手当・救急搬送状況について	消防局救急課	TEL:092-725-6574	FAX:092-791-2994

平成30年度版

熱中症予防の手引き

福岡市環境シンボルキャラクターエコッパ

熱中症とは？

室温や気温が高い環境で、体温の調節機能が働かなくなって生じる体の不調の総称です。誰でも熱中症になる可能性があり、重症化すると死亡することもあります。

軽症

めまい
立ちくらみ
汗がとまらない
こむら返り

中等症

頭痛
吐き気
体がだるい
ぼーっとする

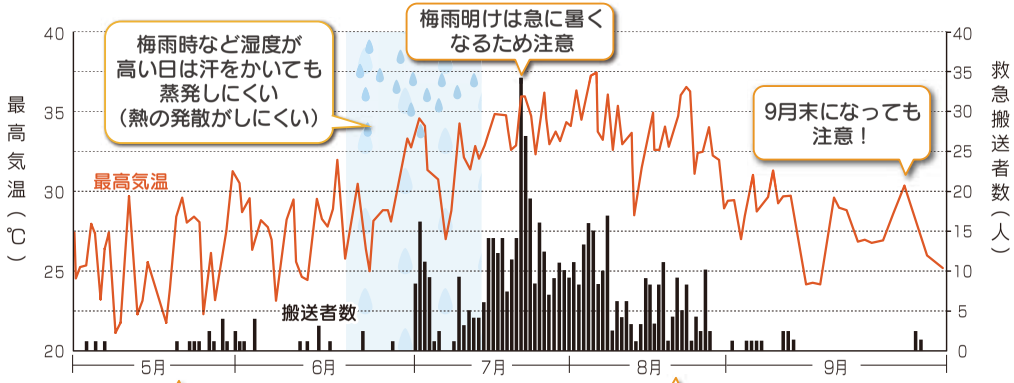
重症

意識がない
まっすぐ歩けない
けいれん
体があつい(高体温)

どんな時期に熱中症になりやすい？

急に暑くなった時、気温が高いときが要注意！

熱中症による救急搬送者数（平成29年・福岡市）



5～7月は子どもの搬送が多い！

お盆明けは労働者の搬送が多い！

どの時期も高齢者の搬送が多い！

福岡100

よくある熱中症の発生事例

体調が悪いなか出かけたところ、帰りにめまいとふらつきを感じた。

体調が悪いときは
無理をしない！
涼しい室内施設を利用！

炎天下で運動中、めまいと頭痛を感じ動けなくなった。

運動時には
特に休憩や水分・塩分補給を
積極的に！
※観戦中も熱中症対策を！

室内でエアコンをつけずにいたところ、体がだるくなり動けなくなった。

室温を意識して
エアコンや扇風機を
利用する！
※高齢者は暑さやのどの渇きに
気づきにくいため特に注意！

予防のポイント

❶体調を整えよう

- □こまめに水分補給をする。
- □たくさん汗をかいたときは水分とともに塩分を補給する。
- □きちんと食事をとる。
- □充分な睡眠をとる。

福岡市健康づくり
イメージキャラクター
よかろーもん

❷暑さを避ける工夫をしよう

〈 室内 〉

- □温度計・湿度計を置き、部屋の温度や湿度を確認する。
- □よしずや緑のカーテンなどで日差しをさえぎる。
- □部屋の風通しをよくする。
- □エアコンや扇風機を上手に使用する。

〈 外出時 〉

- □帽子や日傘を利用する。
- □涼しい場所・施設を利用する。
- □日陰を選んで歩く。
- □暑さ指数※を参考に外出時間を工夫する。

※暑さ指数については最後のページへ

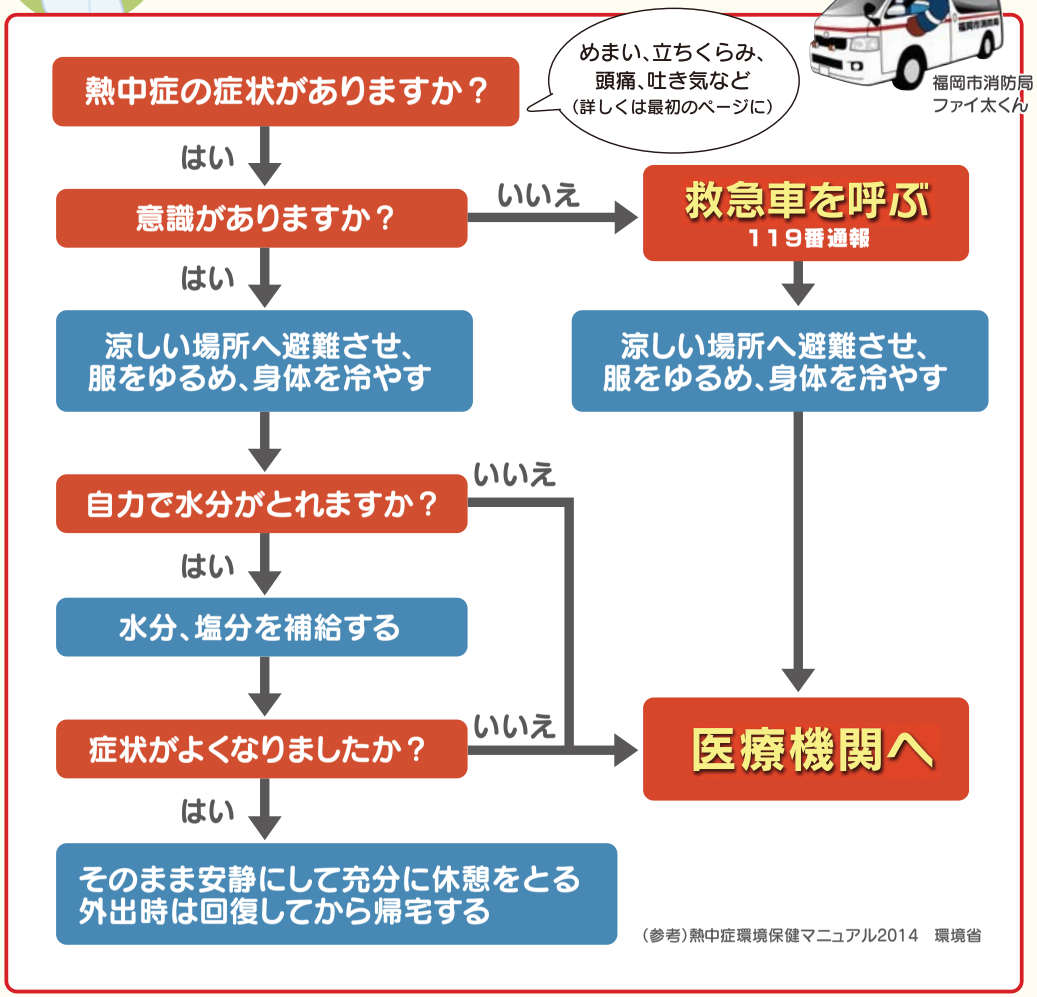
応急手当の方法

・涼しい場所へ移動し、服をゆるめ、安静に寝かせる。
・エアコン、扇風機、うちわなどを使い、体を冷やす。

熱中症かもしれない！と思ったらどうすればいい？

下記に従い対応しましょう。
適切に対応することで、症状を軽減できる可能性があります。

福岡市消防局
ファイ太くん



（参考）熱中症環境保健マニュアル2014　環境省

救急車が必要か迷ったとき 医療機関がわからないとき

福岡県救急医療電話相談事業

救急車の利用や最寄りの医療機関についてアドバイスします。

#7119　24時間受付　年中無休

#を押して 7119　または　092-471-0099

二次元バーコード
読み取り機能付の携帯電話で
見ることができます。

ふくおか医療情報ネット

受診可能な医療機関をインターネットで検索できます。

http://www.fmc.fukuoka.med.or.jp/